

記入例

令和8年度ボランティアグループ育成・助成金交付申請書

令和 年 月 日

社会福祉法人 葛飾区社会福祉協議会
会長 秋本勝利 あて

団体名 いきいき高齢者グループ

代表者 葛飾 一郎

所在地 葛飾区堀切3-34-1

電話番号 5698-2511

会計担当者 葛飾 二郎

電話番号 5698-2512

ボランティアグループ育成・助成金について、下記のとおり申請します。

記

1 助成事業申請区分 (A又はBのどちらか)

A区分 (該当する番号に○をつけてください)

- (1) 団体の学習会及び研修活動 (2) 活動に必要な器具・機材の整備
(3) 団体のモデルとなる新規活動など (4) 団体の広報紙・記念誌等
(5) その他、団体の活動に必要なもの

B区分

ボランティア団体の常用的な活動に必要な経費

2 申請事業 (活動) 名

(B区分の場合は、不要) 認知症予防研修会

3 助成金交付申請額

¥ 64,000

4 添付書類

- ① 事業計画書兼予算書 ② 団体紹介 (団体概要、活動実績など)
③ 見積書 (器具・機材の整備の場合、コピー添付)
④ 会員名簿・定款・会則等 (ボランティア登録時に提出済みで、変更がない場合は提出不要)

① 事業計画書兼予算書

1 申請事業名 認知症予防研修会

2 申請事業について

① 事業の目的 会員や地域の高齢者の認知症予防のため、

普段の生活に役立つ知識を習得する。

② 事業の内容 認知症専門家に研修会の講師を依頼し、難しい話しではなく、

高齢者でも理解できる内容で、普段の生活にいかせる研修会を開催する。

③ 実施による効果 研修会の参加者が認知症予防の知識を習得し、

普段の生活で自ら取り組み、健康長寿につなげていく。

3 事業予算書（上記事業計画にかかる資金計画）

当該事業の資金計画（予算）		支出経費内訳	
項目	金額	項目	金額
助成金	64,000円	講師謝礼	30,000円
自主財源（団体負担）	6,000円	印刷代（資料）	30,000円
利用者負担金	10,000円	会場使用料	20,000円
その他（ ）	円		円
収入計	80,000円	支出計	80,000円

助成金額は総支出額の8割まで

↑ ↑
注：収入計と支出計は同額にしてください。

② 団体の概要

① 団体の目的と活動について(設立の目的、活動内容、場所、頻度等)

高齢者の認知症予防を目的に地域の仲間が集まり、平成〇〇年に設立。現在、会員数30名にて、毎月第一、三土曜日に活動している。

活動内容は月に1回の勉強会と区内各地域での認知症予防出前教室が中心。勉強会では会員それぞれが持ち寄った認知症予防に役立つ情報を会員間で共有する。また、その情報は運動、食事などの項目別に分け、予防マニュアルとして随時更新している。

また、各地域の町会などを通じて出前教室を行っている。今年は会員や知人を対象に、認知症の専門家を呼んでの研修会を予定している。

② 昨年度の活動実績

令和〇年〇月〇日 勉強会 会員18名

〇月〇日 堀切地区〇〇町会会館での出前教室 参加者20名

〇月〇日 東京都主催の認知症サミットに参加 会員22名

活動実績の記入については、前年度の活動状況を記入してください。